

第1回八潮市振興計画審議会 議事録

開催日時	令和6年10月8日(火) 午後2時00分から午後3時50分まで	開催場所	八潮市役所3階 3-4会議室
出席者 (敬称略)	(1号委員) 大塚 一宏、木下 史江 (2号委員) 織田 隆志、篠木 秀彦、杉本 裕介、高木 洋介、平本 なるみ、昼間 竹雄、藤波 達也、藤波 光子、宮本 敏幸 (3号委員) 山田 洋 (4号委員) 大山 恵美子、小倉 潤子、籠倉 正美、佐藤 恵子		
欠席者 (敬称略)	宇田川 武雄、狩野 稔、佐藤 順一、福野 敏子	傍聴者数	0人
内 容	1 令和6年度第1回八潮市振興計画審議会 (1) 開会 (2) 自己紹介 (3) 会長の選出及び会長の職務を代理する委員の指定 (4) 審議会の公開について (5) 議事 ア 基礎調査について イ 市民参加の取組について ウ 序論・基本構想の骨子案について (6) その他 (7) 閉会		
提供資料	次第 参考資料1 八潮市振興計画審議会規則 参考資料2-1 八潮市附属機関の会議の公開に関する規則 参考資料2-2 八潮市振興計画審議会傍聴要領 資料1 基礎調査について 資料2 市民参加の取組について 資料3 第6次八潮市総合計画序論・基本構想骨子案について 別紙 第6次八潮市総合計画策定基本方針		

【議事詳細】

令和6年度八潮市振興計画審議会

(1) 開会

(2) 自己紹介

(3) 会長の選出及び会長の職務を代理する委員の指定

他薦により山田委員を会長に選出し、会長が昼間委員を会長の職務を代理する委員に指定

(4) 審議会の公開について

事務局が資料2-1「八潮市附属機関の会議の公開に関する規則」及び資料2-2「八潮市振興計画審議会傍聴要領」をもとに、審議会の公開について説明し、審議会より了承を得た

(5) 議事

ア 基礎調査について

資料1「基礎調査について」を説明

【質疑応答】

○委員からの質問

資料の区域区分に関する地図はどこで見れるのか。また、市街化区域と市街化調整区域とは何を目的に定めて、期間を定めているのか。

→ 市のホームページで閲覧が可能。市が市街化を進めようとする区域は市街化区域となっており、農地や自然等を守ることなどを目的として無作為な開発を抑制するための区域は市街化調整区域として規制している。また、期間については、いつまでといったことはなく、現時点での都市計画決定内容となっている。

イ 市民参加の取組について

資料2「市民参加の取組について」を説明

【質疑応答】

○委員からの質問

児童・生徒アンケートについては、市内の全小中学校と高校を対象に行ったのか。また、どの学年を対象に行ったのか。

→ 市内の小中学校・高校に通う、小学5年生、中学2年生、高校2年生を対象に行った。高学年のほうが回答しやすいと思われるが、最高学年の場合受験等があるため、その影響について配慮した。

○委員からの質問

若い方の意見のほうは多く集まっていると思うが、ご年配の方の意見はどの程度集めてられているのか。

→ まちづくり掲示板については、「想い描く未来の八潮について」の1問のみとなっており、ご回答いただく際に年齢をいただけていないため、具体的な人数を把握することはできないが、集まった意見の内容を踏まえると一定程度年配の方の意見もいただけていると考えている。また、まちづくり掲示板や児童・生徒アンケートでいただいた意見については、まちづくりワークショップでの検討材料としてテキストマイニングしたものを活用しており、参加者については、町会自治会連合会、女性人材リスト、八潮高校、八潮南高校、市の若手職員、公募の方々に参加していただき、幅広い年代の意見を集約できていると考えているので、9ページ以降のワークショップでの意見を踏まえて今後の施策を検討していく予定である。なお、意見の内容を参考にするものであり、多い少ないで今後の市の施策に影響させるものではないと考えている。

○委員からの質問

まちづくりワークショップの周知方法と公募の人数について教えていただきたい。

→ 町会自治会連合会、女性人材リスト、八潮高校、八潮南高校については、市から参加の依頼をし、市の若手職員は事務局で選出、公募については、広報やしお、市のホームページに掲載し、周知と参加の募集を行い、10人に参加していただいた。

□委員からの意見

市民参加の取組については、とても良い取組と認識している。今後はより広い範囲で市民参加ができるようにしていただきたい。

→ パブリックコメント、地区別説明会も今後予定している。その際には、今いただいた意見も参考とさせていただく。

ウ 序論・基本構想の骨子案について

資料3「第6次八潮市総合計画序論・基本構想の骨子案について」を説明

【質疑応答】

□委員からの意見

新公共経営という言葉は非常に古い言葉であり、今から策定する計画にはそぐわないと考える。

→ 新公共経営という名称については、庁内の会議においても、名称について検討の余地があるとの意見もあったため、今後も検討していく。

□委員からの意見

計画人口10万人とあり、近年の状況を鑑みれば10万人に達すると思われるが、八潮の北側の過疎化が進んでいる。また、流入している若い世代は仮住まいで定着していないように感じ、このままでは定住している人たちの高齢化が進むことで様々な問題が発生することが懸念されるため、総合的に考えて計画を策定していただきたい。

○委員からの質問

第6次総合計画の骨子案に記載されている項目は、第5次総合計画とどう変わったのか。施策の本身についてはこれから変わると思うが、第5次総合計画とどう変えようと考えているのか。

→ 項目の変更点としては、将来目標人口10万人から計画人口10万人として変更しているが、将来都市像や分野は第5次総合計画から継続している。これまで、住むことを誇りに思えるまちを目指して第5次総合計画に取り組んできたが、そのコンセプトはこれからも大事なものと考えているため、内容をブラッシュアップして策定したいと考えている。

○委員からの質問

第5次総合計画の検証を行っているのか。

→ 第5次総合計画の検証を進めているところである。なお、毎年度、事務事業評価等の行政評価を実施しており、ホームページで公表している。また、外部の評価委員にその評価内容をチェックしていただく外部評価委員会を毎年度開催している。

(6) その他

第2回八潮市振興計画審議会については、12月中旬頃の開催を予定しているため、後日ご連絡をさせていただく。

(7) 閉会

以上